

# Harmony

## いじめ・いのちを考える日

今日は、大阪の全ての学校でいじめ・いのちについて考えました。大阪では毎年5月の第2週目の月曜日に「いじめについて考える日」を設定しています。全校集会の校長先生からのお話では、お父さんお母さんからもらった名前のお話と、ひとりひとりが大切な存在である、それを傷つける行為は許さないというお話でした。そして、そのまま中学生は体育館に残り、3学年全員で短い動画「いじりといじめ、どう違う？」を観て、グループで話し合いました。先輩とのグループワークで緊張していた人もいましたが、それぞれのグループが真剣に考え、話していたのが印象的でした。

以前、学年集会でも、最近のみんなの言葉遣いについてお話しました。入学して中学生として頑張ろうとしているみんなをみて、素直で元気な一面もたくさん見られるようになり嬉しい反面、慣れてきて、友だち同士の会話や態度がきつすぎたり、絡み方が激しかったりしている様子を何度か見ました。一方は笑顔で会話したり遊んでいたりとしているようだけど、もう一方は笑っていないで嫌がっている時もあります。

まだまだ幼く、すぐに「せんせい～〇〇がこんなことしてきます～」と報告してくれているので、先生たちと一緒に注意したり、仲直りしたりできているかもしれません。徐々に、自分たちで解決していく時期になってくるものですが、先生たちが全て見えるわけではなく、このままの雰囲気では、少し心配です。

私は、「悪気がない」「ふざけているだけ」という感覚のまま、人を傷つける言葉や態度がエスカレートしたりするので、「いじめは特別な悪意から始まるだけではない」と感じています。みんな「いじめは良くない」と分かっていますよね。だから、何気ない一言、軽いノリ、みんなに合わせた行動などの小さなことの積み重ねから始まることもあり、「仲が良いから大丈夫」ではなく「仲が良い相手だからこそ、相手の気持ちを考える」人になってほしいと思っています。7年生は、いろいろありますが、みんな仲が良いです。その良さを別の場面で発揮できるカッコいい学年になればと思っています。

今日の「いじめいのちを考える日」をきっかけに、誰にでも起こりうる「いじり・いじめ」について当事者意識を持ち、中之島小中一貫校が気持ちよく安心して安全に過ごせる学校にしていきたいと思います。

